

## 平成21年度児童健全育成対策関係予算概算要求の概要

厚生労働省雇用均等・児童家庭局育成環境課

(平成20年度予算額) (平成21年度概算要求額)  
291,410百万円 → 298,594百万円

### 1. 総合的な放課後児童対策（「放課後子どもプラン」）の着実な推進

27,850百万円

「新待機児童ゼロ作戦」を踏まえ、放課後児童クラブの受け入れ児童数の集中重点的な増加を図るとともに、大規模クラブ（児童数71人以上のクラブ）の解消を図るなどの緊急重点整備を行う。

また、放課後児童クラブと文部科学省が実施する「放課後子ども教室推進事業」を一体的あるいは連携して実施する「放課後子どもプラン」の着実な推進を図る。

#### (1) 放課後児童クラブ運営費（ソフト事業） 18,255百万円

##### ○ 放課後児童健全育成事業費

##### ・か所数

20,000クラブ → 23,600クラブ（+3,600クラブについては10月～実施）

- ・設置か所数の増に伴い、運営費について所要額の確保を図るとともに、開所時間の延長など、保護者のニーズに対応するための支援を実施する。

#### (2) 放課後児童クラブ整備費等（ハード事業） 9,392百万円

##### ○ 創設費補助の充実【児童厚生施設等整備費】

- ・学校の敷地内等に放課後児童クラブ室を新たに設置する際の創設か所数の増を図る。

##### ○ 改修費補助の充実【放課後子ども環境整備等事業】

- ・大規模クラブの解消を図るための改修及び、既存施設（学校の余裕教室等）を改修して、放課後児童クラブ室を設置する際の改修か所数の増を図る。

##### ○ 設備費補助の充実【放課後子ども環境整備等事業】

- ・既存施設（学校の余裕教室等）において、新たに放課後児童クラブを実施する際の児童のロッカー等を購入する場合の費用（設備費）の増を図る。